

『輝け雪』のまち

ぬまた町

# みんなの議会

2023年11月  
第95号

まちの未来はボクらが守る

- p 2 第3回定例会 おもな議案・補正予算
- p 4 町政を問う 7名が一般質問
- p 8 議会改革調査特別委員会
- p 10 常任委員会の活動
- p 12 決算特別委員会



沼田町議会 検索

# 令和5年 第3回 定例会

## 9月13日

9月13日、令和5年第3回定例会が開催され、町長の一般行政報告および教育長の教育行政報告の後、7名の議員が8件の一般質問を行いました。

令和4年度の一般会計・特別会計と水道事業会計の決算審査については、決算特別委員会を設置して集中審査をすることとしました。

## 上程された おもな議案

以下の議案についてすべて全会一致で承認されました。

- 深川市ほか4町介護認定審査会共同設置規約の一部を変更する規約について
- 北空知障がい支援区分認定審査会共同設置規約の一部を変更する規約について
- 北海道市町村退職手当組合理約の変更について
- 除雪ドーザ草刈り装置購入事業に係る物品の購入契約について 1439万円

## 補正予算

## 一般会計

一般会計の予算総額に9494万を追加し、予算の総額を55億6905万とする補正予算を承認しました。主なものは以下のようになります。

### ■総務管理費

沼田町開拓130周年記念事業のために新たに雇用する会計年度任用職員報酬 118万円

### ■企画事業費

幌新地区の情報を発信する魅力創造マイスターへの委託料 19万円

### ■沼田町特産品開発事業

クラフトビール醸造施設設計と地盤調査委託料 303万円

### ■感染症予防対策費

新型コロナウイルスワクチン接種に係る委託料 313万円

### ■沼田厚生クリニック運営費

クリニックの運営損失補填と古くなった医療機器更新に係る助成金 5490万円

### ■暮らしの安心センター運営費

入口上部にある庇の改修に係る実施設計業務委託料 99万円

### ■農業総務費

農業後継者への機械購入などに係る補助金 300万円

### ■農業用施設災害復旧費

大雨により被害を受けた農地や農業施設への復旧支援補助金 15万円

- 特別養護老人ホーム特別会計
- 高齢者グループホーム特別会計
- 水道事業会計

旭寿園、グループホームなごみの特別会計と、水道事業会計の補正予算を承認しました。



# ヒサシ 庇の一部に亀裂が発生



雪の荷重で木部に亀裂が生じたと思われます。どのような補修が行えるか専門家に委託し、実施設計を行います。

当面通行には支障はありませんが、この冬に関しては、適切な雪下ろしを行うことで対応します。

暮らしの安心センター入口上にある庇の改修部分

## 人事案件

2件の人事案件に同意しました。

- 教育委員の任命 松尾 敦史 氏(再任)
- 公平委員の選任 栗中 一弘 氏(新任)

## 意見書

2件の意見書提出を求める請願を全会一致で採択しました。

### ■軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書

道路以外で稼働する機械に使用する軽油の免税措置が解除されると、スキー場の圧雪車に大きな影響が出るため。

### ■国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

沼田から秩父別間の道道への防雪柵設置をはじめとする、防災・減災・国土強靱化を進めることを求めるものです。

## 賛否が分かれた請願

この請願は、採決の結果反対多数で不採択となりました。

### ■国立病院の機能強化を求める意見書提出を求める請願

新型コロナウイルス感染症拡大時に、医療崩壊の危機に直面した教訓から、地域医療の充実を図るため、国立病院の機能強化を求めるものです。

### 採決の結果

反対	    
賛成	   

町長、教育長への

一般質問



畑地 誉 議員

水害の教訓を活かすには

事前放流の重要性は理解する



横山町長

畑地

・町長へ

8月6日に起きた雨竜川水系での水害について、過去の水害の教訓に立って、対応のタイミングを聞きたい。

前日までに河川事務所と事前放流について協議することはできなかったのか。

・農業委員会会長へ

水田の畑地化に対して、農地が持つ多面的機能をどう評価するか。

町長

情報収集と関係機関との連絡体制は整っていました。河川水量が基準量を超えると予想される場合には、事前放流を要請することもあり得

ますが、基準の変更についてはここでは明言できません。

中村 宗寛 農業委員会会長

水田の畑地化は個人の判断に任せられますが、土地価格の下落を防ぐためには農地の多面的機能を理解してもらう必要があります。



増水した雨竜川



伊藤 淳 議員

持続可能な有害鳥獣駆除対策を

農作物被害の予防と観光への影響抑制を関係者と検討する



横山町長

伊藤

有害鳥獣対策を行う地域おこし協力隊員の、任期満了後の状況はどうなっているか。

外部委託の可否と法人設立の検討、事業の採算性をどのように考えるか。

町長

有害鳥獣駆除対策の地域おこし協力隊員は、任期満了後に町職員や他の法人で活動している者がいます。定期的に本人の希望を聞き、よりよい体制を検討します。

外部委託は、近隣自治体と連携することで効果を上げています。法人設立には人材確保が必要不可欠であり、将来的に検討していきます。

農作物被害が発生しており、観光にも影響が出ていると認識しますので、事業の採算性確保の方法を関係者と検討します。







上野 敏夫 議員

## 沼田町商店街の今後は

新規開業希望者への支援を継続する



横山町長

### 上野

最近、商店街の呉服店が閉店し、高齢者にとって身近な店舗が少なくなった。

人口流入を促す施策の拡充や補助金の見直し、特に空き店舗を有効に活用した多様な業種の誘致が重要ではないか。

### 町長

最近4年間で14事業所が新規開業しており、引き続き支援を進めていきます。

空き店舗対策としては、「チャレンジショップ」的な取り組みも検討します。



閉鎖店舗が増えつつある現在の商店街



久保 元宏 議員

## シン・町民体育館を町の拠点にしよう

財源を確保し、中学校体育館との複合施設を目指す



横山町長

### 久保

公共施設管理総合計画の中で、町民体育館は現在どのような位置づけにあるのか。

少子高齢化と商店街の空洞化が進む中、「あるくらす」にこそ交流拠点が必要となる。体育館を中学校に併設するのでなく、「あるくらす」を拠点とした複合施設が必要ではないか。

新しい施設には明確なコンセプトが必要で、そのためには多方面の人材を活用した準備会を立ち上げるべきでは。

### 町長

公共施設管理計画に基づき、新たな町民体育館建設の必要性を感じるが、人口減少と財政状況から中学校体育館と両方を同時に更新することは困難であり、まずは財源を確保することが必要です。

### 三浦 剛 教育長

新しい町民体育館は、生涯スポーツの拠点として整備することが望ましいと考えます。

施設のコンセプトを明確にし、設立準備会は他の事業計画と財政状況を考慮しながら設置時期を検討します。



「あるくらす」周辺を沼田町の拠点に



長野 時敏 議員

### JR留萌本線廃線後の施設及び土地利活用は

幅広い年代から意見を聞き検討する



横山町長

#### 長野

JR留萌本線廃線後の資産の活用は、町の未来にとって重要な課題である。

町民と行政が一体となってまちづくりを考える場が必要。町民を政策立案の段階から参画させることで当事者意識が高まる。特に、町の未来を担う中学生や高校生など若い世代の意見も聞いてはどうか。

全国各地の廃線跡地利用例に学び、JR北海道の廃線跡地活用イノベーションプログラムも資産活用の参考とするべきではないか。

#### 町長

これまで様々な形で町民からの意見集約に取り組んできました。そういった会合に出られない方の意見も含め、今後も幅広い年代から意見

を集約していきます。特に生徒からの意見は、教育委員会を通じて相談していきます。

鉄道資産の活用には費用もかかるということ踏まえて検討していきたいと思います。



一部廃線の翌朝すぐに線路が切られました



篠原 暁 議員

### 本人の同意なく自衛隊への個人情報提供はやめるべき

除外申請の導入を検討する



横山町長

#### 篠原

自衛隊に応募する若者が減少する中、自治体から自衛隊に住民の個人情報が提供されている事は、個人情報保護の観点から問題があると考ええる。

自衛隊法に法的拘束力はなく、過去の政府見解でも情報提供は強制ではないとされていることをどう捉えているか。

#### 町長

自衛隊法と自衛隊法施行令に基づいて情報を提供していると認識しますが、個人情報保護法を遵守する上から、情報提供を望まない方からの除外申請の導入を検討します。



#### 篠原議員のその他の質問

**問** 異常な物価高騰から町民生活を守るためには

**答** 町民への継続的な支援を検討する





大沼 恒雄 議員

エネルギー高騰に町としても支援を



横山町長

福祉灯油の他対策を講じていく

大沼

・町長へ

依然として燃料価格が高騰し、生活に困窮する人が増えている。ガソリン以外の燃料にも町としての支援策が必要ではないか。

トリガー条項の解除や再生可能エネルギー利用拡大など、エネルギー制度改革も進めるべきでは。

・農業委員会会長へ

今年は作物の高温障害が懸念される。農業経営の収支、営農計画の見通しについてどのように把握しているか。

町長

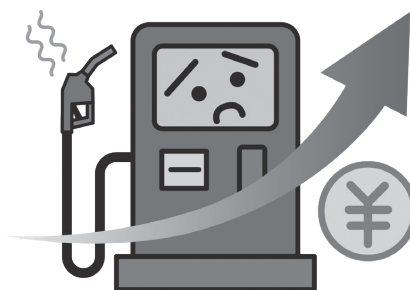
燃料価格高騰対策は、国が早急に進めるべきであり、要請をしていきます。また、町として

も福祉灯油の継続の他、対策を講じていきます。根本的なエネルギー対策も、国に対して強く求めていきます。

農作物の高温障害への支援を国に求めることは、状況を見ながら対応します。

中村 宗寛 農業委員会会長

国に対して要請活動を行っており、収穫状況を見ながら追加の支援要請も検討します。



傍聴席の生の声

町民の代表者の方々の議論ですから、町民のために語られているのだと思います。ただ、重要なのは今じゃなく、今後の沼田町の姿だと思う。ひとつのハコ物を財源だけで決定するのではなく、ほかの町にも同様のものはあるでしょう。大切なのは建物ではなく利便性だと思う。使われるもの(将来性)をつくる。とても難しいことだと思う。(60代男性)



今回の定例議会の傍聴者は、3名でした。  
YouTube 再生は169回でした。

みなさまの傍聴をお待ちしています。

## 議会改革調査特別委員会

### 第3回 議会改革調査特別委員会

沼田町議会サポーター・法政大学土山希美枝教授が来町して、沼田町議会と意見交換をしました。

議員数や報酬水準、定数削減問題などについて詳しく述べられています。土山氏から「議員は町民の代表であるため、適切な人材をリクルートする必要がある」と主張し、「議員の仕事内容を町民に理解してもらうため、積極的にアピールすることが重要です」と訴えています。議論では、女性議員の割合が低い現状や、議会の活動を町民に適正に評価してもらうことの難しさについても意見交換しました。



議会サポーターの土山教授

### 土山氏が考えるアクションプラン

#### 議員定数削減の問題点

議員定数を大幅に削減するのは困難です。常任委員会数を維持し、実りある議論を行うには一定数の議員が必要だと説明されています。定数を減らすと立候補のハードルが上がり、議会の多様性が失われることが指摘されました。

#### 議員の生活を保障する報酬

議員の報酬は生活を保障する額であるべきだと主張されています。行政職と同様の水準にすることが望ましいと述べられました。非常勤報酬では生活が成り立たないため、正規の生活給に近づける必要があると訴えられています。

#### 町民の理解を得ることの重要性

議員の仕事内容を町民に理解してもらうことが極めて重要だと強調されています。積極的なアピールとして、全町民訪問や学校での出前授業などのアイデアが提案されています。町民との対話を積み重ね、住民の代表者としての意識を高めることが目指されています。

#### 女性議員の割合向上の必要性

衆議院小選挙区一人区の増加に伴い、女性議員の割合が低下している現状が指摘されています。多様な視点を反映するためにも、女性議員を増やすことが重要だと述べられています。

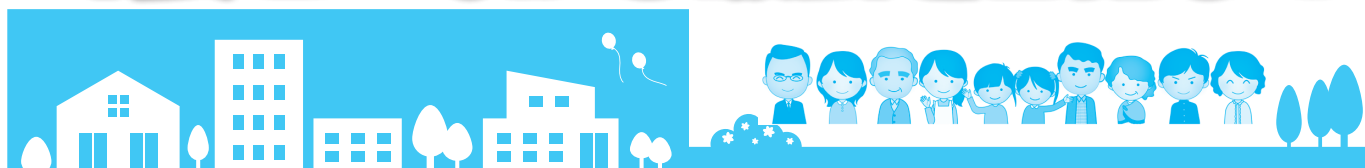
#### 議会活動の評価を得ることの困難さ

議会改革を行っても、町民からの評価を得るのは難しいと述べられています。個別の政策改善を示すことが求められているため、単なる議会改革では不十分だと説明されています。

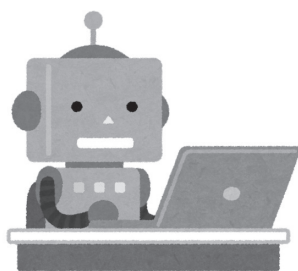
このページの文章は生成AI技術を活用し、土山氏を講師に迎えて行った会議のまとめを文章化したものです。



# 町民とつながる議会を目指して



## 広報委員会での生成AI活用



沼田町議会改革調査特別委員会では、議員の仕事を効率化する目的で生成AI技術を活用した広報作成を実践中です。現在の生成AI技術を使うと、短時間で効率的に文章作成の手助けをしてくれます。また、議事録から伝えたいことを要約していくため、強力な広報委員の一人としての活用を試行錯誤しています。

もちろん生成AI技術が全部作成するわけではありませんし、人による修正は加えて広報原稿を作成します。



## 議会改革調査特別委員会に関わる日程

### ・ 8月28日 第2回 議会改革調査特別委員会

議会ホームページについて他議会の状況を調査し、議員定数と報酬について議論しました。

### ・ 10月2日 第3回 議会改革調査特別委員会

8ページ参照。

### ・ 10月5日 視察受け入れ

東京都目黒区議会から13名が来町し、議会改革、中学生議会について視察されました。

### ・ 11月6日 視察受け入れ

奈井江町議会から10名が来町し、議会改革、タブレットの活用について視察されました。



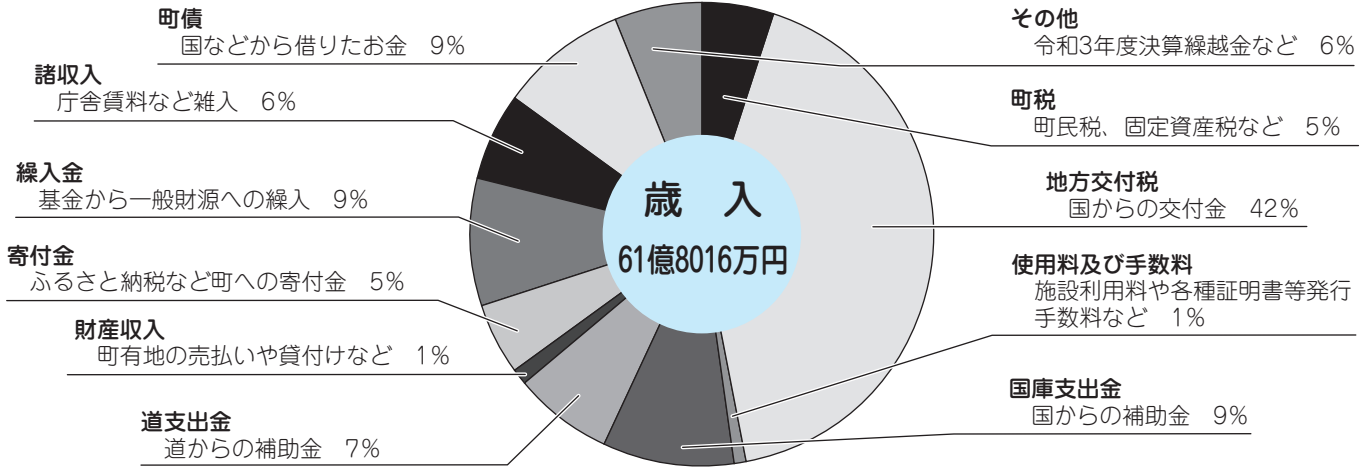
目黒区議会議員視察



奈井江町議会議員視察

# 決算特別委員会

10月18日～27日



畑地 委員長      三浦 副委員長

## 総括



観光費に「沼田力が」分かるよう、化石やほたるなども活用すべきではないか。



魅力ある独自の資源を有効にPRできる連携は取らせていただいたつもりです。効果の見えない部分もあったのかもしれないが、予算組上であることのご理解を願いたい。



学力向上対策は、Team Teaching方式でより結果に直結する事業が必要ではないか。



学力学習状況調査や各種のテストを総合的に見ながら学習の定着を図り、弱点を担う取り組みを行っています。道に加配の要望を行っていますが、近年の教員不足などから十分な配置になっていない状況です。



蛾の大量発生は、環境衛生費で町民に寄り添った初動対応に活用すべきではないか。



蛾の発生は、街灯のLED化に伴い減少していると判断していますが、衛生面に対する配慮に欠けた部分もあったかもしれない。共助という形で町民にご協力いただき、道路管理者とも協議していきたい。



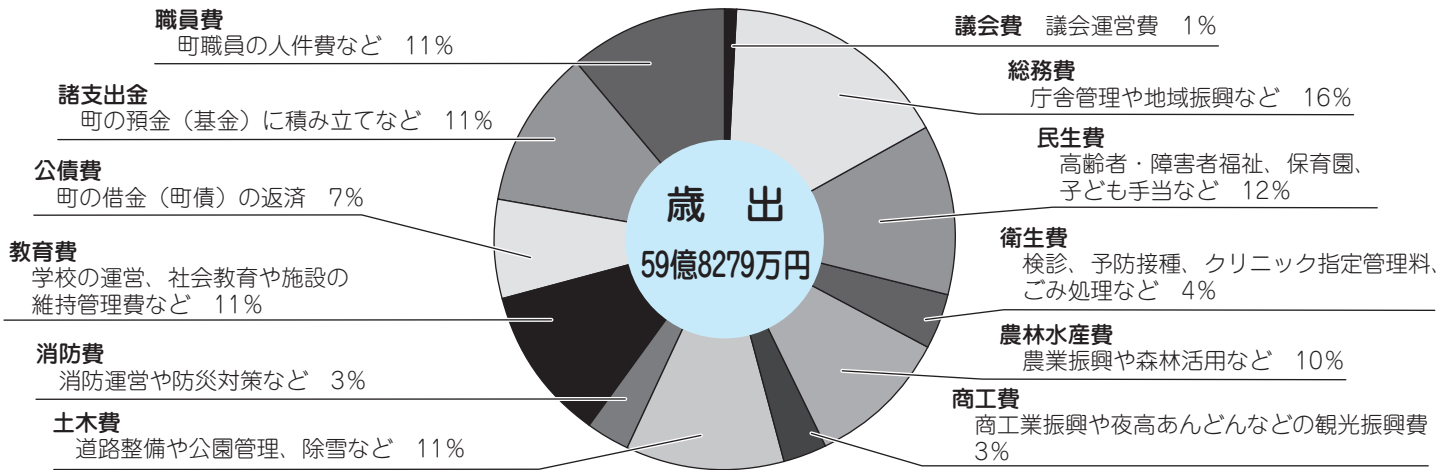
公共施設の管理を業者委託にする考えはあるのか。



今後のスマートな行政運営を図るうえで、職員で全部の施設を管理できるかも含め、施設によっては、指定管理や委託も考えながら進めていきたい。



# 令和4年度決算 全会一致で認定



## 令和4年度決算のここに注目!!

○ふるさと納税	2億7316万円	対前年度	9939万円の増
○スキー場リフト輸送人員	101,972人	対前年度	38,901人の増
○実質収支額	1億5086万円		黒字
○実質公債費比率※	0.1	全道平均	7.0

※実質公債費比率とは、地方公共団体の一般財源総額に占める公債費の比率です。  
数値が低いほど財政が健全であるとされています。



回答する横山町長

## 質 疑



スマート農業や農業機械に対する町の補助制度を見直すべきではないか。



農業者に対する効果的な支援策で今後の沼田農業への誘導策を示すべきではないか。



現在の制度設計から高い補助率に変更する場合、今まで導入された農業者との支障が発生する懸念があります。より持続できる沼田農業を作り上げるための協議を意見を伺いながら行っていきたい。



加工用トマト生産は1000トンを目指し、機械収穫などの調査も行う中、生産者に栽培していただける環境を作っていくたい。  
労働力の確保に向け対策を検討し、意見集約を行い、対応策を検討していきたい。



移住の増加に対応できる保育、介護、看護人材の確保対策は。



移住定住者や協力隊との介護や保育など仕事のマッチングは出来ているのか。



介護従事者就業支援事業は、現場の声を反映して制度設計したもので、沼田町独自の事業です。保育も含めた重要な部門について働いてみたいという環境を作り、持続可能な対応策を図っています。



介護士や保育士の就業支援助成事業は5年間の就業支援金を活用した重要な事業であり、効果が十二分にあると感じています。協力隊は募集をしているが、採用には至っていません。

## 常任委員会の活動状況

# 総務民教建設常任委員会

### ■そうめん会報第1号を発行

今期より新しい取り組みとして、常任委員会の活動をわかりやすく伝えるポスターを製作しました。名付けて「そうめん会報」です。町内の各公共施設などで掲示しています。これからも随時更新していきますので、ご覧になったご意見などをお知らせください。

### ■防災関連施設を視察

9月28日に、妹背牛町と秩父別町の防災関連施設を視察しました。

妹背牛町では約1億5千万円をかけた防災備品備蓄庫と非常用発電設備を見学。沼田町では備蓄施設が狭いため、各所に分散して保管されていますが、妹背牛町では一元管理されており、同様の施設の必要性を感じました。

また、緊急用発電設備は、燃料が庁舎の重油と共通になっており、工夫の跡を感じました。

秩父別町では消防庁舎に設置されているソーラーパネルを見学しました。広い駐車場では演習も可能でした。

沼田町議会 総務民教建設常任委員会 総務民教建設常任委員会 総務民教建設常任委員会 会報

そうめん会報 委員会のメンバーが決定！

《令和5年8月21日 第1号》

4年間 一緒にがんばります！



### 所管事務調査の項目が決まりました

所管事務調査では、問題点を分析、検討して対応策を結論づけることを目的としています。所管事務の調査は自主的に行っています。

#### 1. 環境にやさしいまちづくり

- ◆ゼロカーボン宣言の町 → もっと実効性のある取り組みとは！
- ◆海洋マイクロプラスチック → 内陸部からの流出を防ごう！

#### 1. 地域資源を生かした生涯学習について

- ◆沼田町らしいコミュニティスクールを追求します
- そらち自然学校との連携を！

#### 1. 地域防災と防災拠点について

- ◆災害に強い防災センターとは？ → 消防庁舎の機能を持たせよう！
- ◆冬だったらどうする？ → 食料と災害備品の備蓄拠点を！

地球の異変に興味を持とう！ SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

問い合わせ先 沼田町議会事務局 0164-35-2117

総務民教建設常任委員会 会報 総務民教建設常任委員会 会報 総務民教建設常任委員会 会報 総務民教建設常任委員会 会報 総務民教建設常任委員会 会報

A3版のポスターです



備蓄庫の搬入口で妹背牛町の担当者から説明を聞く議員



秩父別町のソーラーパネル



# 産業福祉常任委員会

産業福祉常任委員会では所管事務調査テーマを「商業インフラで持続可能なまちづくり」と決定していることから、11月9日・10日、町内外からの起業や開放的なチャレンジショップなどの先進的な活動と充実した支援体制を整えている、安平町と喜茂別町を視察してきました。

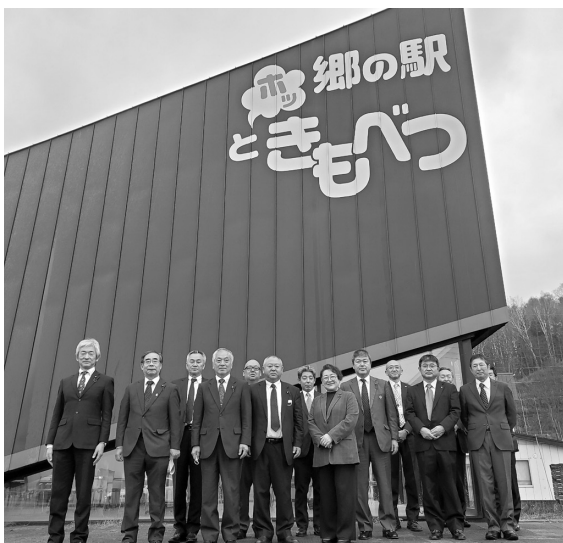
同日、余市町のクラフトビールの工場も視察してきました。



安平町では、トレーラーハウスを利用したチャレンジショップで協力隊員が運営するカフェを見学



起業者育成に力を入れる安平町



喜茂別町は、道の駅とは別に、官民一体の郷の駅を整備し、誘客を図る



余市町では、省スペースでも製造可能なクラフトビール工場を見学



表紙の写真

みんなの広場

10月15日、秋晴れの中会場にお邪魔しました。たくさん親子連れや買い物客が訪れていました。まちなかほっとタウンの駐車場では、毎日様々な現場で頑張っている自衛隊、消防、警察のはたらく車たちが集結して、制服の試着なども行われ、たくさん子どもたちでにぎわっていました。

表紙のお子さんは、町内に住む小本陽輝（はるき）くんと、小本直輝（なおき）くんの8歳の双子の男子です。

このイベントでの「がんばる車大集合」をとっても楽しみにしていたそうです。消防士の消火服に身を包み、消防車の運転席にも乗せてもらっていました。笑顔でポーズを決めた二人を撮らせていただきました。



■ 退任議員との交流

10月13日、退任議員と現職議員のパークゴルフ大会を開催し、親睦交流を深めました。

団体戦では、退任議員の正確なショットにはまだまだ勝てない現職議員チームでした。

この日は退任議員親睦会の総会もあり、新たな会長に杉本邦雄氏が選ばれました。

個人の成績

- ・優勝 山木 一男
- ・準優勝 津川 均
- ・3位 杉本 邦雄
- ・ホールインワン賞 山木 一男



まだまだ現職には負けません

■ 中学生議会を開催

11月1日に沼田中学校の3年生を代表して5名が、町議会の議場において、横山町長への一般質問を行う中学生議会を行いました。

公共施設に関する質問では、財政状況により優先順位を決めると答弁した町長に、それでは施設の建設に使える予算はどれくらいあるのかと再質問で切り返す場面も見られました。



一般質問をする中学生議員

あとがき

新しい議会体制となり、2回目の定例会が終わりました。もうすっかり秋も深まりましたが、今年は「雪虫」が大量発生し、ちょっと外出しただけで身体が雪虫だらけになってしまいます。それも過ぎると、あつという間に冬に突入ですね。

あの暑かった夏に身体がついていけない状態でしたが、秋になり夏の暑さで疲れて秋バテしている間もなく一気に寒くなり、体温調整が上手くいかず風邪をひいてしまいそうです。インフルエンザが流行しています。皆様どうか暖かくして冬の水分補給も忘れずに。

広報特別委員

- 篠原 暁 三浦実希
- 畑地 誉 伊藤 淳